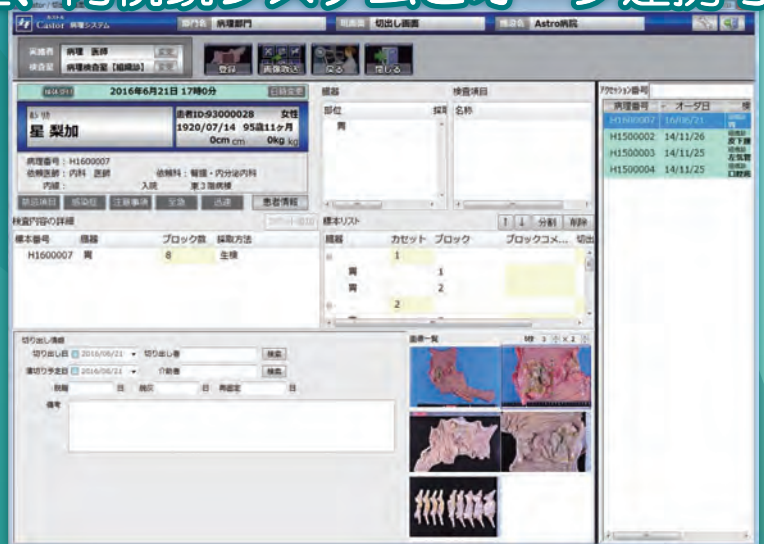




病理検査の検体受付から診断まで全てバーコード運用可能、
既読管理、薬品の在庫管理、内視鏡システムとオーダ連携可能



組織診、細胞診、解剖と分類された病理ランチャー

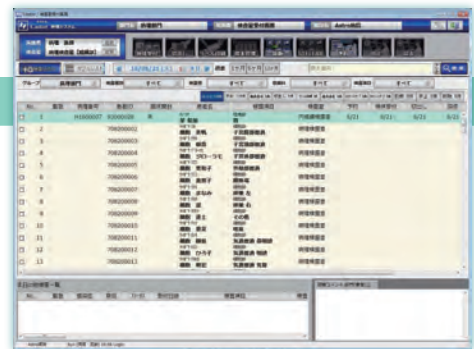


病理検査の各種段階に応じたシステム対応

Castor（カストル）は各予約受付から各種の組織、細胞、病理の進捗状況をリアルタイムに表示する病理システムです。受付一覧および既往歴、病例検索、標本管理、貸出機能まで実装し、標本切出しからスクリーニング、診断までの一覧がシステム上で管理できます。

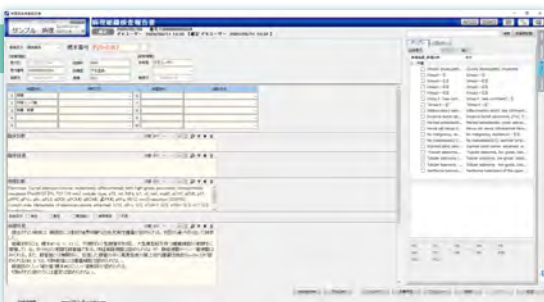
① 全体リスト画面から進捗をリアルタイムに表示

診断作業中の追加切出しや追加染色指示も簡便にできます。内視鏡システムから病理オーダの発行ができます。（他社内内視鏡システムとの連携可）また、免疫組織科学染色や遺伝子検査の追加医事会計情報の電子カルテ連携が可能です。



② 一次・二次・最終報告の診断ステータス表示

組織診断、細胞診断ともに一次診断から最終診断までのステータスに応じたレポートに対応しています。取扱規約のテンプレート対応、細胞診検体の適否やクラス判定・ベセスダ判定など、プルダウンで選択可能です。



③ 重要度に応じた既読管理機能

レポートの既読通知は依頼医・主治医・診療科部長など、複数の医師へ設定可能です。通常・重要・最重要のステータス別に通知できます。電子カルテと連携し、未読レポートの開封はポップアップ機能で通知できます。

